

No. C01	まっちゃん	年月日	令和4年6月1日(木)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

妻の妊娠が判明し、妻からは育児休暇の取得を求められているが、今の仕事は楽しくやりがいい感じ始めている為、育児休暇を取得したくないと考えている。しかし、妻へその考えを伝えることができない。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがど
るかを記述せよ。

1行目：良かった点、2行目：悪かった点

(良) 仕事に対してのやりがいや楽しさに焦点を当てて傾聴し、相談者の価値観を聴きとることができた点。

(悪) 男性の育児休暇についてどのように相談者が考えているのかについてお伺いすることができなかった。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 相談者の問題は以下の2点であると考えられる。(1)現在の仕事で育児休暇を取得できないという思い込み。(2)相談者と奥様が十分なコミュニケーションの機会を持つことができていないという点。

②その根拠 根拠は以下の2点であると考えられる。(1)育児休暇を取得しづらい空気感を現在の職場は持っており、申請がしにくいという相談者の発言。(2)今の仕事にやりがいを感じ始めている状況で育児休暇を取得したくないという考えを妻に伝えることができておらず、このままではマズイという発言。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者のこのままではマズイと思いながら、どうすればよいか分からないという感情を丁寧に傾聴し、冷静に育児休暇について考えられるように促す。その上で、今の職場の上司や人事部へ育児休暇の取得について考えを話すように提案を行うことにより、育児休暇の取得可否について理解をしてもらう。また、奥様の仕事状況や今までのやり取りについて傾聴を続けながら、相談者が奥様とコミュニケーションをとれるように促す。さらに、時短勤務や周囲のサポートの有無についても確認し、育児と仕事の両立について検討してもらう。以上により、相談者が可能な限り早く、主体的な意思決定ができるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.3)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙